

# いろいろとごちゃごちゃしてきたのでマトメ

論点は以下のものかな？

1. 研修旅行を宗家研修に戻すか。

三裏研が賛成しているのでそうしましょう。

2. 研修旅行委員の義務参加について

九州が反対しているが、私は義務化した方が良いのではないと思う。

金額が大きい団体行事なので確実に遂行する必要がある。

研修旅行委員に人数を割けないならば責任が集中するのでなおさら。

3. 主催裏研について

関西が毎年アポをとることに反対しないならばそれでよい。

訪問先は三裏研で話し合って決めればいい。

と思っています。

4. 補助金制度について

正直これ以上詮じても埒が明かないと思うし疲れた。

村上氏の総本部の確約がアテにならないという指摘はマトを射ていて、結局総本部は「20名未満だから出しましえ〜ん」とか言ってくるかもしれない。

裏研側で独自にキャンセル期限より前に補助金の有無を確定できればよいのだが…。

村上氏の一般参加者に提示する補助金支給の下限人数を多めにするという提案、悪くないとは思うけど、それでも補助金有りを確言はしたくないよね。

現時点で一番まるいかなと思っているのが、

まず普通に募集する。施設の予約は募集締め切り時の人数でしておく。LINEグループで補助金の割合、支給条件、及び有無が直前まで確定できないことを募集時点で明言する。

さらに、補助金の有無べつに参加不参加の投票をし（従ってその人数状況は一般参

加者に公開される)、補助金無しでは参加したくない人たちにはそのデータを見た上で自己判断で参加不参加を決めてもらう。

この投票はキャンセル料がかかる期限の数日前まで開いておき、常時フレキシブルにする。

この投票が終了した時点で、改めて参加不参加の投票を行う。このときの参加人数を決定人数として、減った人数の予約はキャンセルする。このときに表明する参加は補助金が支給されない可能性があることを理解したうえでのものと捉えることができる（要するに私は株式投資のような仕組みのものをイメージしている）。

というものです。

こんなもんか？